

褥瘡発生率

- 分子

- 調査期間における分母対象患者のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者数

- 包含

- 院内で新規発生の褥瘡(入院時刻より24時間経過後の褥瘡の発見または記録)
- 深さd2以上の褥瘡、深さ判定不能な褥瘡(DU)、深部組織損傷疑い

- 分母

- 入院延べ患者数

- 除外 下記患者の入院日数

- 日帰り入院患者(同日入退院患者も含む)
- 入院時にすでに褥瘡保有が記録(d1,d2,D3,D4,D5,DU)されていた患者*1
- 調査期間より前に褥瘡の院内発生(d1,d2,D3,D4,D5,DU)が確認され、継続して入院している患者*2

*1 院内での新規発生に限定

*2 すでに褥瘡が発生している患者群を除き、調査期間内に院内新規発生の可能性がある患者に限定

分母(入院延べ患者数)の算出方法

- 調査期間(例:9/1~9/30)の各患者の入退院ごとの入院日数の合計を算出
 - － 除外 下記患者の入院日数
 - 日帰り入院患者(同日入退院患者も含む)
 - 今回入院時にすでに褥瘡保有が記録(d1,d2,D3,D4,D5,DU)されていた患者
 - 今回入院中で調査期間より前(例:8/31以前)に、褥瘡の発生が確認(d1,d2,D3,D4,D5,DU)されている患者

分母・分子計算例

例1:

患者Aの入院期間が2010/7/1～2010/11/30で、調査期間が2010/9/1～2010/9/30、褥瘡発生日が2010/9/15の場合、分母に30、分子に1を加える。

例2:

患者Aの入院期間が2010/7/1～2010/11/30で、調査期間が2010/9/1～2010/9/30、褥瘡発生日が2010/8/15の場合、分母から除外、分子からも除外。

例3:

患者Aの入院期間が2010/7/1～2010/11/30で、調査期間が2010/9/1～2010/9/30、褥瘡発生日が2010/8/15と2010/9/15の場合、分母から除外、分子からも除外。

患者Aの入院期間が2010/7/1～2010/11/30で、調査期間が2010/9/1～2010/9/30、褥瘡発生日が2010/8/15(d1)と2010/9/15(d2以上)の場合も、分母から除外、分子からも除外

例4:

患者Bの入院期間が2010/7/1～2010/9/15で、調査期間が2010/9/1～2010/9/30、褥瘡発生日が2010/9/10の場合、分母に15、分子に1を加える。

よって、例1+例4の場合には分母は $30+15=45$ 、分子は $1+1=2$ となる。

データ提出形式

#	項目名称	内容	入力条件
1	施設コード	都道府県番号2ケタ+医療機関コード7桁 例011234567	必須
2	調査開始日	0~9からなる8桁の数字YYYYMMDD 例2009年9月1日→20090901	必須
3	調査終了日	0~9からなる8桁の数字YYYYMMDD 例2009年9月30日→20090930	必須
4	d2以上の褥瘡の新規院内発生患者数	1~9からなる4桁の数字 例 12人 → 0012	必須
5	d1のみの新規院内発生患者数	1~9からなる4桁の数字 例 12人 → 0012	分子参考
6	褥瘡発生率対象入院延べ患者数	調査期間(一か月)の対象患者の入院延べ患者数 6桁の数字 例 0620000	必須
7	入院時にすでに褥瘡保有が記録されていた患者数	1~9からなる4桁の数字 例 12人 → 0012	分母参考 (除外)
8	調査期間より前に褥瘡の新規院内発生が確認され継続して入院している患者数	1~9からなる4桁の数字 例 12人 → 0012	分母参考 (除外)

#1はDPC様式1と同様の入力形式とする

提出データ例

施設コード	調査開始日	調査終了日	d2以上の褥瘡の新規院内発生患者数	d1のみの新規院内発生患者数	褥瘡発生率対象入院延べ患者数	入院時にすでに褥瘡保有が記録されていた患者数	調査期間より前に褥瘡の新規院内発生が確認され継続して入院している患者数
011234567	20090901	20100930	0012	0030	0620000	0050	0040

褥瘡学会 褥瘡推定発生率・褥瘡有病率 データ提出形式

#	項目名称	内容	入力条件
1	施設コード	都道府県番号2ケタ+医療機関コード7桁 例011234567	必須
2	調査日	0~9からなる8桁の数字YYYYMMDD 例2009年9月20日→20090920	
3	調査日に褥瘡を保有する患者数	1~9からなる4桁の数字 例 12人 → 0012	
4	入院時既に褥瘡保有が記録されていた患者数	1~9からなる4桁の数字 例 12人 → 0012	
5	調査日の施設入院患者数	1~9からなる5桁の数字 例 512人 → 00512	

#1はDPC様式1と同様の入力形式とする

褥瘡学会の定義で算出している施設は、あわせて上記データ提出のご協力をお願いいたします。

データ提出例

施設コード	調査日	調査日に褥瘡を保有する患者数	入院時既に褥瘡保有が記録されていた患者数	調査日の施設入院患者数
011234567	20090920	0012	0040	00512

参考資料

日本褥瘡学会

DESIGN-R(2008年改訂版褥瘡経過評価用)

1)Depth(深さ)

d0	皮膚損傷・発赤なし
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮下組織までの損傷
D4	皮下組織をこえる損傷
D5	関節腔、体腔に至る損傷
DU	深さ判定が不能の場合

参考資料

NPUAPとの対応

d0,1 : Stage I

d2 : Stage II

D3 : Stage III

D4, D5 : Stage IV

DU : UNSTAGEABLE

International NPUAP-EPUAP Pressure Ulcer Guidelines

NPUAP / EPUAP Pressure Ulcer Classification System

ステージ I : Non-blanchable erythema

ステージ II : Partial thickness

ステージ III : Full thickness skin loss

ステージ IV : Full thickness tissue loss

Additional Categories for the USA

Unstageable/ Unclassified

Suspected DTI (DTI 疑い) : Suspected Deep Tissue Injury